

3・11 福島へ!

2012年3月8日
No 10

Tel 050-3036-6464
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

全世界をつなぐ団結と変革への行動を!

●国際部・松室しをり(慶応大)



今年の3・11は文字どおり、全世界の人びとが心をひとつに「原発いらない!」と声をあげ、行動する歴史的な日となろうとしています。少なくとも17の国々—110の都市で人びとが行動を準備しています。

アメリカ・サンフランシスコではILWUローカル34の仲間たちが労働組合として、オキュパイ運動とも協力しながら反原発集会を開催します。

オーストリアでは、新たな仲間たちが動労千葉をはじめとした日本の労働者との連帯をかけた、被災地と心をひとつにウィーンの日本大使館へのデモ・抗議集会にたちます。

フランスでは、原発の密集地帯であるリヨンからアヴィニオンまでの200キロを包囲する人間の鎖行動が呼びかけられています。原発大国フランスでの反原発闘争の爆発が、全ヨーロッパをゆり動かすものとなるであろうことは間違いありません。

そしてドイツでは、全国6ヶ所の核施設周辺で反原発の大規模なデモ、全国での集会がよびかけられています。そのうちの1ヶ所であるハノーファーでは、1月に来日してともにたたかったゴアレベンの仲間たちがデモの先頭に立ちます! 昨年、50万人規模での反原発デモに圧倒されて自国の段階的廃炉を約束したにもかかわらず一方ではインドやブラジル、中国、フィンランドやイギリスへの原発輸出を狙う政府に、ドイツの労働者人民の怒りは爆発しているのです。ブラジルでも、原発を包囲する行動がたたかわれます。

原発、核とのたたかいのうちにもっとも鋭いかたちで突き出されているものこそ、新自由主義との対決です。それゆえに反核・反原発闘争は国境を越え、どこまでも連帯を求めてやまないたたかいです。象徴的なのはオーストラリア全国で、ウランの採掘・輸出をとめるデモが呼びかけられていることです。事故当時、福島第一原発の6基のうち少なくとも5基で使用されていたウランはオーストラリアで採掘され、輸出されたものでした。自国での被曝労働と、福島の人びとの被曝—オーストラリアの人びとの根源的な怒りが、核燃料サイクルを出発点から断ち切ろうとしてい

ます。ウラン採掘場をもつモンゴルでも、同様のデモが呼びかけられています。

日本政府が原発輸

出を狙うトルコに、10000筆もの反原発署名を職場や街頭で集めてくれた心強い仲間たちがいることも決定的です。

世界中どこでも、「フクシマ」は未だ過去となっではいけません。再びめぐってくる3・11という日は、全世界の人びとが心をひとつに立ちあがる新たなたたかいの出発点です。全世界をつなぐ団結と変革にむけた行動を、仲間への追悼として、そして次の世代の子どもたちのために届けよう。次の社会を担う私たち青年・学生こそ、その最前線に立とう。全世界の仲間の思いも背負って、3・11郡山へ!

●首都圏大学3年生

日本は三度目の被爆をしました。東電元社長の清水は被曝地域を土下座して回ったわけですが、彼の本心には謝罪など毛頭なかったのです。被曝によってたくさんの人々の人生が破壊されたにもかかわらず、彼は数億円もの退職金を得ているのです。

被害者の賠償金は徹底的に切り詰められ、搾取によって儲けた金は支配者の懐にがっぽり入る。なんという社会のシステムでしょうか! 清水は、企業年金や退職金の削減を求める声が出ていることに対し、「老後の生活に直結する問題で、現時点では考えていない」と言い切りました。もはやフィクションで描かれた悪の親玉と同じことを言っているのです!

いくつ原発が炸裂して、何人被爆しようと、支配者はリッチで安全な生活を続けます。たくさんの原発労働者が命を削って動かしている原発で、あいつらだけが大量に儲けるのです。あいつら1%の利権のために、我々99%が命を削られるのはもうたくさんです! いまこそ反撃の時です!



↓3月11日、ドイツで行われる反原発集会のポスター

● 法政大学 2 年生

野田は日帝の生き残りをかけ、原発輸出と再稼働に躍起になり、何としても「稼働原発ゼロ状態」を避けるために、泊原発3号機の定期検査入りの先送りまで示唆し始めた。自分で決めた法律を踏み破ってくる超法規的手段だ！そして、この原発再稼働と原発輸出を強行するためにこそ、野田政権は、福島第一原発の「冷温停止状態」を宣言し、労働者・人民を高濃度汚染地域に見捨て・見殺しにしているのである。さらに、「原発反対」の地位までを利用して原発反対運動をつぶしにかかっている。福島大学副学長「清水修二」だ。清水は、業界内では脱原発派のように言われており、「原発いらない！福島県民集会」においても呼びかけ人代表を務めている。だが、それとは裏腹に、福島大学においては3・11を呼び掛けるポスターすら貼らせず、何と彼自身の指示で、闘う学生の貼った3・11の呼びかけポスターをはがすという暴挙を平然と行っている。記者会見など公式の場では「二万人集めたい」などと言っておきながら、闘う学生に対し「君たちに二万人を集めてもらおうとは思わない」などとほざき、福島大生を決起させないために躍起になっている。余計にたちの悪い御用学者ではないか！しかも、福島大学は原発推進を推し進めてきた機関である放射線医学総合研究所（放医研）との連結協定を締結し、被災地からフクシマの怒りを圧殺する拠点となろうとしているのだ。だが、こんなことは二度と許してはならない！この原発亡者の息の根を絶つことから、大震災からの復興は始まるのだ。全原発を直ちに停止し廃炉にせよ！このような腐ったあり方を根本的に変革し、利権の上のさばる社会のゴミを一掃し、原発もなく、被爆もない、



↑ 2月26日、玄海原発再稼働阻止を掲げ佐賀県集会が2100人の大結集で打ち抜かれる！

「カネ」よりも「命」が大事にされる、みんなが生き生きとして暮らせる社会を作る「真の復興」を勝ち取ろうではないか！そして、その第一歩として、福島に集結し、原発絶対反対の怒りの声を奴らの骨の髄にまで響かせてやろう。最後に私はただこれだけを言いたい。全ての労働者・農民・学生は「3・11原発いらない！福島県民大集会」に結集せよ！！ちなみに私は7日から福島現地に行ってきます。

● 首都圏大学 2 年生

3.11郡山開成山球場、反原発集会への結集を神奈川学生として呼び掛けます。

あの3.11の大震災からもうすぐ1年になる3月11日を僕は怒りを持って迎えなければならないと思います。

あの震災から津波・原発事故を経験し、それにも関わらず政府や大学の原子力に対する危機感の低さは異常だと思いました。事故後政府は原子力発電の安全をひたすら叫び長年研究をしてきた偉大だと言われた専門学者たちまでも根拠のない「安全だ」と言う一言に終始していた。結果としてこの1年彼らの言うことが嘘であること一つひとつ実証するように衝撃的な事実が少しずつ報道されて来ました。

しかし、その絶望の反面でこの1年街頭にでて声を上げる人が増え、政府の原子力政策がそれを注視せざるをえなくなっていた。選挙で投票に行くよりもよりストレートに政策に干渉して行くのを感じました。世の中が僕達の意識を無視できなくなっている。原発だけでなく他の問題にかんしてもそうだと思います。選挙で1票を投じるよりも確実に変化を起こせる！このことが僕の中でどんどん確信に変わっています。この日にむけて「追悼」の日にしようと沢山の場所で呼び掛けられています。それは違うと思います。責任を取るべき人間が責任をとらず忘れ去られる前にこの事故の責任を取らせてからだと思う。

3・11日を怒りを持って迎えるというのは、「もう繰り返すな！」「汚染した大地を返せ！！」「選挙なんか待たれるか！！」と政府や電力会社に訴え実際に変えて行くということです。責任をとろうとしない責任者に責任をとらせるためデモに参加しよう。

「再稼働阻止！全原発廃炉」に向けて、みんなで参加しよう！

原発いらない！3/11県民集会

【要項】 3月11日（日）福島県郡山市・開成山球場
13:00～オープニングコンサート 15:00～デモ
夕方から全国学生集会やります！